

平成29年度 第2回 開成町下水道運営審議会 議事録

開催日 平成29年11月30日（金）10：00～

場 所 開成町役場 3階 議会全員協議会室

議 題 （１）開成町アクションプラン策定中間報告について
（２）下水道事業特別会計の決算報告について
（３）その他

出席者

委 員 鶴岡会長、小室副会長、石村委員、関田委員、田代委員、加藤委員、西田委員
小田切委員

事務局 芳山部長、熊澤課長、加藤、川口

開会のあいさつ（課長）

事務局）会長よりごあいさつをお願いします。

会 長）※あいさつ

事務局）ありがとうございます。それでは、ここからの進行は会長にお願いいたします。

会 長）議題（１）開成町アクションプラン策定中間報告について資料１の説明をお願いいたします。

事務局）それでは、開成町アクションプラン策定中間報告について、資料をもとに説明させていただきます。

資料１ 開成町アクションプラン策定中間報告について説明。

会 長）資料１ 開成町アクションプラン策定中間報告について説明が終わりました。何か質問等ございますか。

委 員）資料１の５ページの（６）説明の最後に「必要な事業執行上の組織、執行体制についても検討を行います。」とあるが、この調査の中で実施するのか。また、（１０）計画協議の「開成町様」の様という表記がおかしい。あと、４－１の表－１と４－２で単位が統一されていないため、合わせたほうがよい。

事務局）アクションプラン策定の中では組織、執行体制の調整等はいりません。また、ご指摘いただいた標記については訂正させていただきます。

委 員）アクションプラン策定の期限は決まっていますか。

事務局）国から今年度中に策定するように指示されています。

委 員）開成町に直接関係ないのですが、市町によっては都市計画税を賦課しているが、税を賦課している市町で調整区域に都市計画税で下水道を入れることは可能ですか。その場合、財源的な問題は生じていないのでしょうか。

事務局）都市計画税を徴収しているところに関する情報は説明会でも得られていません。

また、国県からも各市で徴収している都市計画税についての予算充当などの指示もないため、徴収している市町の判断になることが考えられます。

委 員) アクションプランで示された計画通り、下水道計画区域全体を下水道処理で行うという判断には賛成します。開成町の地形などから判断しても妥当と考える。また、調整区域への布設であっても下水道受益者負担金は賦課をするのでしょうか。

事務局) 下水道受益者負担金は賦課をしていきます。

委 員) 4－2の起債の償還シミュレーションで金利は含まれているのでしょうか。均等に償還していくものなのか。

事務局) 金利はかかることになります。また、償還方法は元利均等償還になります。

委 員) 開成町汚水処理施設アクションプラン策定業務についての2の(2)の表現で「概成」とありますが、このような言葉は説明時によく使用されるものなのでしょうか。

事務局) 県などはよく使用されているが、「完成させる」などの意味で使用しています。

事務局) 「完成」までにはいかないが「ほぼ完成」との意味で解釈しています。

委 員) 冊子になった場合、一般住民には理解できないのではないかな。

委 員) アクションプラン策定に伴い近隣市町との整合性を図る必要はないのでしょうか。

事務局) 各市町でアクションプランを策定しています。各市町のアクションプランを踏まえた中で県の流域下水道処理事業に反映させていくようになります。現状では南足柄市、小田原市は策定済みとなっていて、足柄上郡の各町では今年度策定が完了する予定となっています。

事務局) アクションプラン策定におけるスケジュールの説明。※追加説明

委 員) 計画変更エリアでの地域別の説明会は実施されますか。

事務局) 今のところ大きく計画を変更するエリアがないため、説明会の開催は考えていません。

委 員) 4－2起債の償還シミュレーションで青いグラフが北部を含まない起債償還額で赤いグラフが北部のシミュレーションになっていますが、北部2が保留となることなので、現段階では赤いグラフの中央ぐらいになると考えてよいのでしょうか。

事務局) 今のところ赤いグラフの真ん中付近を推移することが見込まれます。

委 員) 北部1の分が増加しても町の財政を圧迫することはないでしょうか。

事務局) 北部計画を推進するにあたって、年間事業費の100,000千円以内で対応する予定です。

事務局) 町の計画への考え方をまとめました。北部1、市街化区域と南部地区を優先的に進めていきたいと考えています。このような方針で良いかどうか審議委員の皆様にお伺いしたい。

委 員) 町の予算があるでしょうから支出が大きくならないように調整し実行されたい。

事務局) アクションプランの整備手法の検討内容からすると町域全体の計画区域については、下水道事業を推進していく結果になっていますけれど、もう一つの選択肢と

しては北部2について、浄化槽による個別処理をしていくという考えもあります。この分を10年後下水道で処理するにしても流域下水道に処理をお願いする排水量が多くなり、そうすると維持管理費の増加も見込まなければならなくなります。このようなことを勘案した中での結果となっています。また、先ほどご発言いただいた内容で開成町は都市計画税を徴収していませんので、市街化区域と市街化調整区域についての投資の差は考えていません。都市計画税によって下水道を整備しているのであれば市街化区域を優先させることになります。しかし、都市計画税により整備を進めているわけではないので、市街化調整区域、農振区域における住宅地を整備しないということにはなりません。

委 員) 北部の地域は水道を使っているのでしょうか。井戸水の利用者はいませんか。

事務局) 北部については、上水道を使用しています。町全体では、10件前後あります。

委 員) 浄化槽での個別処理であれば町の費用は発生しないのですか。

事務局) 発生しません。

浄化槽については、単独浄化槽から合併浄化槽への切り替えの際に補助金が給付されることはありますが、合併浄化槽を新設する場合の補助は行っていません。現在では個人負担によるものとなっています。

委 員) 北部について、説明を受ける前までは、個別処理をしたほうが効率的なのかなと思っていたのですが、下水道処理をするという方針が結果として出たことは凄く意外と感じました。下水道管を埋設したほうが費用面からも負担が大きくなるのではないかと予想していました。

事務局) 下水道の耐用年数が72年と浄化槽と比べて耐用年数が長いことを考えたら、コスト面でも下水道を選択するほうがよいとの判断になりました。

事務局) 北部の一部を下水道エリアから外し浄化槽で個別に処理すると決定した場合でも、今まで北部の方たちの税金も一部投資して下水道事業を推進してきたという経緯もあるため、町の費用はかからなくても補助金、助成金などの検討は必要となります。

委 員) 今は建物寿命の方が早いと思います。一度建て替えを行うと浄化槽を設置していた場合は、なかなか下水道への切り替えは行えないのではないのでしょうか。

事務局) 下水道管が埋設されている市街化区域においても各家庭の状況により、下水道への流入をしていないところもあります。特に北部については、市街化調整区域、農振区域なので新しい家が多く建てられるという状況にはなりません。ただ、敷地面積が広いので敷地内に新しい家が建つという事は考えられます。

委 員) 高台病院敷地内にある福祉施設は浄化槽処理をしているのでしょうか。

事務局) 元々浄化槽での個別処理エリアになっています。物理的な問題で排水するポイントが深くなってしまうため、当初計画から外れていました。

委 員) 松田境地区のような家屋がある場所については、下水道エリアへの編入について

検討を行うべきではないでしょうか。費用がかかる等の理由はあるが、検討しないのはおかしい。

事務局) ご意見いただいた内容については、修正するかどうか検討させていただきます。

委 員) アクションプランについては、現在の事業計画内での予定ということになりますか。当然、計画の見直しがあれば変更内容に変えていくことになるのですか。

事務局) 計画の見直しに伴う変更を行うことになります。

委 員) 計画変更の可能性はありますか。

事務局) 変更の可能性はあります。たとえば、未整備になっている箇所の宮台の富士フィルム開発センター北側と開成中央通りの南側の2か所です。

会 長) 議題(2)平成28年度開成町下水道事業特別会計の決算報告について資料2の説明をお願いいたします。

事務局) それでは、平成28年度開成町下水道事業特別会計の決算報告について、資料をもとに説明させていただきます。

資料2 平成28年度開成町下水道事業特別会計の決算報告について説明。

会 長) 資料2の平成28年度開成町下水道事業特別会計の決算報告について説明が終わりました。何か質問等ございますか。

委 員) 9月議会で説明をしたものですか。

事務局) 9月議会で説明をさせていただき承認を得たものになります。

委 員) 繰入金の問題は議会では質問として出ませんでしたか。繰入金を減らすようにとか。

事務局) 特に減らすようにとの意見はありませんでした。繰入金については、会計年度内に前年度繰入金の増額や使用料収入の増額が見込まれる場合には、補正予算により一般会計からの繰入金は減額をしています。

事務局) 議会において繰越金を減らすようにとの意見は出ていません。平成28年度予算の全体で言いますと町内の事業所でかなりの使用があり、金額的にも大きな収入となっている状況です。アクションプランとも関わってくるのですが、下水道の整備を早く進めるようにとのことで国も補助金を出していますので、限られた人材の中で事業を進めています。また一方では起債償還のピークが過ぎているため、年々償還額が減っている状況になります。

決算とは直接関係ないのですが明日、柴橋商会の竣工式があり、下水道に流入することとなります。柴橋商会も多量排水者となっていますので、ある程度収入は見込めるようになります。その一方一般の家庭については、水道使用量が減っていつている状況になっていることで下水道の排水も減っています。将来的にどうなっていくか注視していく必要があります。

委 員) 柴橋商会は全部水道を使っているのですか。

事務局) 事業系は地下水を使用しています。また排水についてはすべて下水道で排水して

います。

会 長) その他で何かありますか。

事務局) 任期満了に伴う再任の確認について、個々に確認を取らせていただきますのでご承知おきください。

事務局) 次回3月審議会では、アクションプラン及び新年度予算についてご説明させていただきます。

会 長) 特に他はよろしいですか。

事務局) では、平成29年度第2回下水道運営審議会を終わらせていただきます。本日はありがとうございました。